

# やさいレポート（令和7年6月号）



# にんじん



発行日：令和7年6月6日

## 1. 卸売価格の動向

○180 円/kg（6月3日）

➢ 平年比：115%

○6月の価格見通し

平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

## 2. 小売価格の動向

○584 円/kg

（5月9日全国平均）

➢ 前月比：92%、平年比：144%

➢ 東京：250 円（3本）

➢ 大阪：227 円（3本）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：6/20（前月 2/20）

➢ 大阪：4/10（前月 4/10）

（機構調べ）

## 3. 家計消費動向

○200g/人（4月全国平均）

➢ 前月比：98%

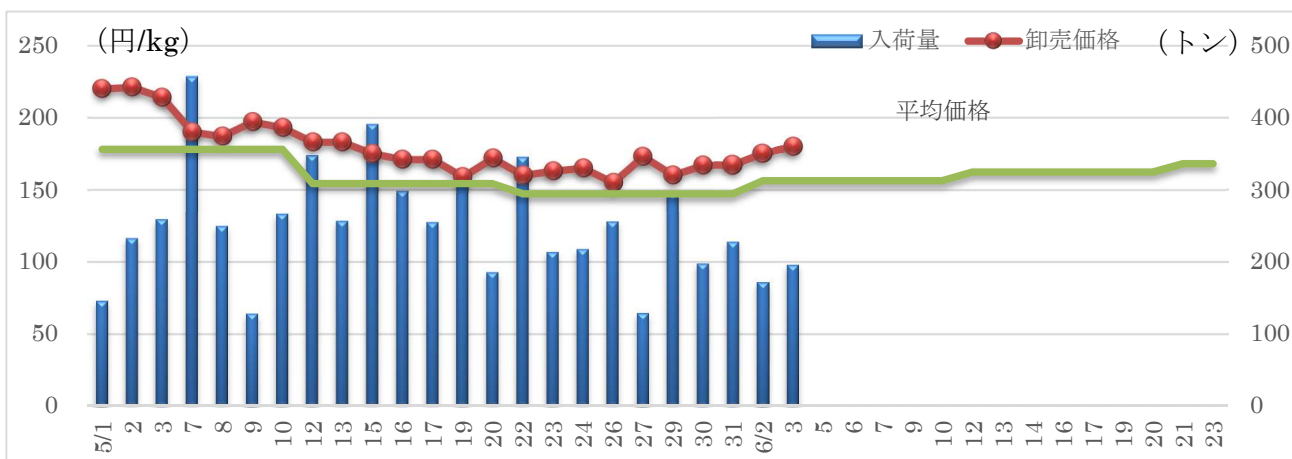
➢ 前年同月比：100%

○2,556g/人（2024 年年間）

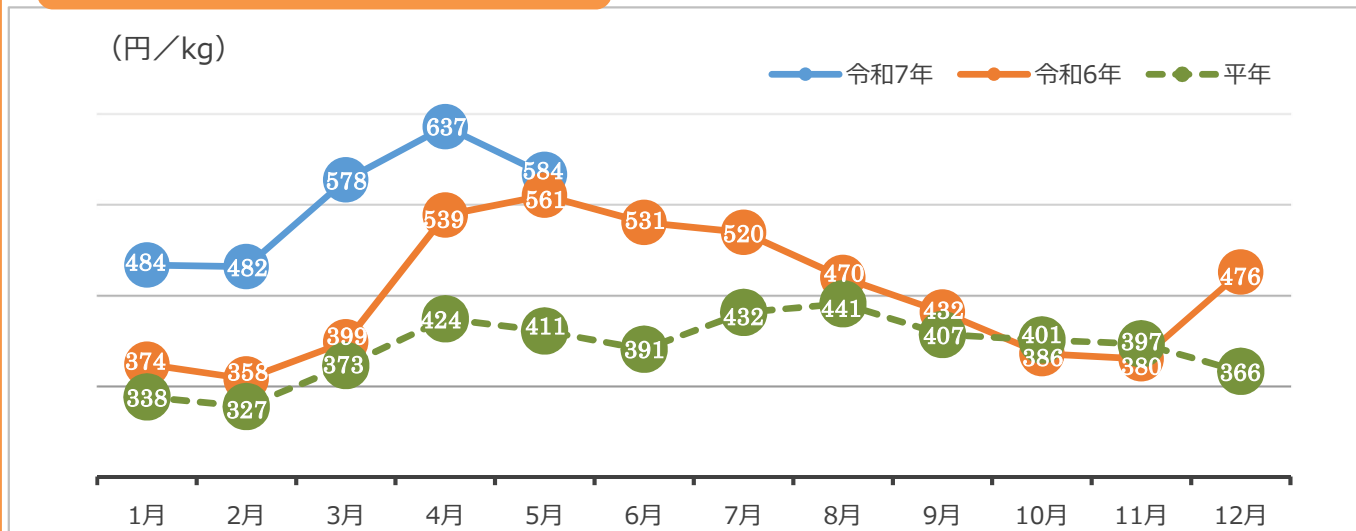
➢ 前年比：97%

（総務省統計局家計調査）

## 4. にんじんの入荷量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



## 5. にんじんの小売価格の推移



## 6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進捗	出荷進捗
青森県三沢 (4/28)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
静岡県大城 (2/6)	減少	平年並み	平年並み	平年並み
徳島県吉野川流域 (4/22)	減少	平年並み	平年並み	早い
沖縄県糸満 (2/7)	前年並み	やや不良	遅い	遅い

※特記ない場合は平年比。( ) 内は調査日。

(機構調べ)



徳島県吉野川流域：圃場の様子

## 7. 向こう1ヶ月の気象情報 (6/7~7/4)

週別の天候				
6/7~6/13	北日本と東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わって来よう。 東日本太平洋側と西日本では、前線の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
6/14~6/20	北日本と東日本日本海側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 東日本太平洋側と西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側と沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
6/21~7/4	北・東・西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低10 並10 高80%	少30 並30 多40% ほぼ平年並みの見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並みの見込み
	太平洋側	高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並みの見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並みの見込み
東日本	日本海側	低10 並10 高80%	少30 並30 多40% ほぼ平年並みの見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並みの見込み
	太平洋側	高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並みの見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み
西日本	日本海側	低10 並10 高80%	少30 並30 多40% ほぼ平年並みの見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み
	太平洋側	高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並みの見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並みの見込み

(気象庁1カ月予報)

## 8. 輸入動向 (生鮮にんじん)

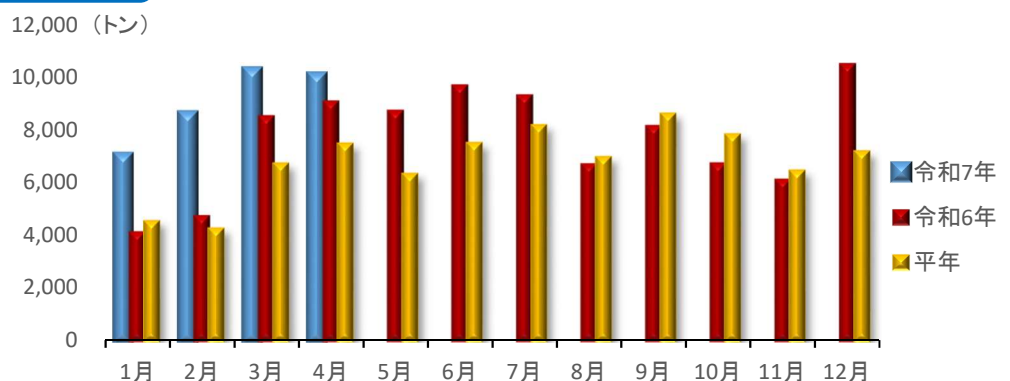
○10,084トン (4月輸入量)

➤ 前年同月比: 111%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 9,088トン
- 2位 台湾 612トン
- 3位 オーストラリア 246トン

(財務省貿易統計)



## 9. 一口メモ

5月は、出始めは主産の徳島産が播種期の高温・干ばつ、生育期の天候不順により出遅れたが、下旬には回復した。千葉産の新物も入荷し高値が一服した。

6月は、千葉や茨城といった関東産が主流となる。一部で作付面積減少や降雨による湿害もみられるが、出荷数量・価格は平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探: <https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793